

NPO法人 たいとう歴史都市研究会

「ホッとする 町の歴史と生活文化をつなぐために」

東京、台東区界隈の古い町では、今でも向こう三軒両隣でさりげなく助け合う暮らしの文化が生きています。それを支えてきたのが、いつでも近所に目が行き届く路地や町家のつくりです。道に向けて並ぶ植木棚は、普段の会話のきっかけでもあります。近代化の進んだ今、プライバシーを過度に守るあまり、隣人と分かり合えないゆえの不幸が世界中で起きています。

当会では、私たちの身近にある古い家や町に込められた暮らしの文化を、人びとが共に生きる知恵として見直し、さらに活かしていきたいと願っています。

活動内容

- | | |
|---------------|------------------------|
| (1) 維持管理・活用運用 | 具体的な建物の維持管理や活用の企画・提案 |
| (2) 調査研究 | 建物、暮らし方、残し方の調査研究 |
| (3) つどい・勉強会 | 地域内外の方の啓蒙・交流を目的とした会の運営 |
| (4) 情報発信 | 会報やメールなどを通じた地域の情報発信 |
| (5) 相談・助言 | 木のすまいを住みつくための相談や助言 |

事務局

〒110-0001 東京都台東区谷中 6-1-29 カヤバ珈琲隣

TEL&FAX : 03-5834-8044 カヤバ事務局

(不在時は留守電またはFAXにてメッセージをお残し下さい)

E-mail : info@taireki.com ホームページ <http://taireki.com/>

演者プロフィール



早瀬詠一郎

はやせえいいちろう

東京生まれ。学習院大学卒業。邦楽家の子に生まれ2歳より邦楽を仕込まれ、学生のころ新内に転じ、のち岡本紋弥として、三越名人会をはじめ、全国の文化財家屋・料亭などに出演。北陸の金沢では廓街を杉浦聡とともに毎年「新内流し」で吟遊する。

また、小説家・早瀬詠一郎として数々の小説を上梓。主な作品に、『萩大老』(新潮社)、『しらべの緒』『おふさー日本ばし芳町』(集英社)、『櫻ー平家夜話』『ひろう神ー女髪結がたり』(PHP研究所)、「裏十手からくり草紙」シリーズ(講談社文庫)、「朝帰り半九郎」シリーズ(双葉文庫)、「役者侍」シリーズ(静山社文庫)など。

同時に、脚本家、放送作家として商業演劇やテレビの台本を数多く手がけ、芸術祭や教育映画祭の優秀賞などを受賞。



杉浦聡

すぎうらそう

東京生まれ。東京藝術大学邦楽科卒業。幼少より邦楽器ならびにピアノなどを学び、新内・清元・河東・箏曲・小唄など多くの名取となり、今も様々な演奏会に客演する。

同時に、希少とされる日本の胡弓においては第一人者とされ、後進の指導に力を注ぐ。現在、埼玉大学ならびに武蔵野音楽大学講師。

また、俳人として『ぼかん』(俳号岡本千弥名義にて刊行)を上梓、早瀬詠一郎とともに文筆でも励む。